

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性期病院に入院する認知症患者に出現したアパシーの改善を目標とした取り組み

1. 研究の対象および研究対象期間

2024年4月1日から2025年2月28日に昭和医科大学横浜市北部病院の4A・5A・5B・6A・6B・7A・7B・8A・8B・救急病棟に入院し、認知症によるアパシーが出現した患者さん

2. 研究目的・方法

急性期病院では身体的治療が優先され、アパシーへの早期介入が遅れてしまう傾向があり、アパシーに介入しないと身体疾患が治癒してもADLや栄養状態が改善せず、本来の生活に戻れなくなってしまうことがあります。今回の研究では、入院後にアパシーが出現してから早急に介入することで、アパシーが改善することを目的としています。

対象病棟に入院後アパシーを疑う認知症患者さんに対し、認知症看護認定看護師と病棟スタッフが連携し、患者の個別性に応じたアクティビティを看護計画に組み込みケア介入を行いました。

研究方法は、上記患者さんの Vitality Index 評価をケア介入前後のアパシーの評価指標として用いて効果測定を行います。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年6月30日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの年齢、性別、既往歴、現病歴、生活歴、家族歴、薬歴、介護保険等級、生活自立度、生活習慣、入院前の生活状況、バイタルサイン、Vitality Index 評価、看護記録、医師診療録

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6. 研究組織

研究責任者 研究機関名 昭和医科大学横浜市北部病院 氏名 伊藤 雄一郎

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学横浜市北部病院 氏名：伊藤 雄一郎

住所：神奈川県都筑区茅ヶ崎中央 35-1 電話番号：045-949-7590